



洗浄力試験

日本化学繊維検査協会データ

試料	洗 浄 力 ※	
	評価点平均	判定
原液	2.00	合格

※評価基準
 －2：明らかに劣る
 －1：やや劣る 0：殆ど差がない
 ＋1：ややまさる ＋2：明らかにまさる
 → 一般の洗浄剤と比較して「＋2：明らかにまさる」との最高評価



抗ウイルス性試験

1，インフルエンザウイルス（H1N1） 日本化学繊維検査協会データ

試料	不活化検査 (EID ₅₀ /0.1ml)			
	開始時	30 秒後	5 分後	30 分後
原液×10倍希釈	>10 ^{4.5}	1 未満	検出されず	検出されず

→30 秒後にはほぼ完全に、 5 分後には完全に不活化。

2，ノロウイルス 日本食品分析センターデータ

試料	感 染 量 (logTCID ₅₀ /ml)			
	開始時	30 秒後	5 分後	30 分後
原液×6倍希釈	8.7	<3.5	<3.5	<3.5

<3.5：検出せず
 →ウイルス感染価は 30 秒後には全く検出せず。



抗菌性試験

1，大腸菌 O-157：H7 日本化学繊維検査協会データ

試料	生 菌 数 (個 /ml)			減 菌 率 (%) ※	
	初期菌数	5 分後	30 分後	5 分後	30 分後
原液	—	8.5E+04	1.5E+00	43.3	≥99.9
蒸留水(対照)	1.5E+05	1.9E+05	1.8E+05	(－ 26.7)	(－ 20.0)

2，黄色ブドウ球菌 日本化学繊維検査協会データ

試料	生 菌 数 (個 /ml)			減 菌 率 (%) ※	
	初期菌数	5 分後	30 分後	5 分後	30 分後
原液	—	2.7E+02	3.0E+00	99.7	≥99.9
蒸留水(対照)	8.7E+04	8.1E+04	7.3E+04	6.9	16.1

3，サルモネラ菌 日本化学繊維検査協会データ

試料	生 菌 数 (個 /ml)			減 菌 率 (%) ※	
	初期菌数	5 分後	30 分後	5 分後	30 分後
原液	—	4.6E+04	7.0E+00	89.8	≥99.9
蒸留水(対照)	4.5E+05	4.3E+05	5.3E+05	4.4	(－ 17.8)

※減菌率 = {(A－B)/A}×100
 A：対照の初期菌数
 B：試料の生菌数



消臭試験

1，アンモニアガスに対する除去性能 日本化学繊維検査協会データ

試料	アンモニア濃度 (PPM)	
	初発濃度	2 時間後
原液	100	4.8
ブランク(空試験)	100	71

→減少率 93%

2，トリメチルアミンガスに対する除去性能 日本化学繊維検査協会データ

試料	トリメチルアミン濃度 (PPM)	
	初発濃度	2 時間後
原液	28	6.8
ブランク(空試験)	28	26

→減少率 74%

3，硫化水素ガスに対する除去性能 日本化学繊維検査協会データ

試料	硫化水素濃度 (PPM)	
	初発濃度	2 時間後
原液	4.0	0.5
ブランク(空試験)	4.0	3.9

→減少率 87%



帯電防止試験

【試料】原液×40倍希釈 日本化学繊維検査協会データ

試験項目			ナイロン	綿	ポリエステル
半減期(秒)			1.0 未満		
摩擦帯電圧 (V)	綿	たて	560	25	13
		よこ	450	29	12
	毛	たて	490	160	38
		よこ	210	150	37

試験方法：JIS L 1094-1997 半減期測定法 JIS L 1094-1997 摩擦帯電圧測定法
 →帯電後の半減期【帯電圧が半減するまでの時間(秒)】は1秒以下。
 →摩擦帯電圧はナイロンで 560V
 ※参考基準：半減期10秒以下 / 摩擦帯電圧 3.000V 以下
 半減期30秒以下 / 摩擦帯電圧 1.500V 以下



抗カビ試験

日本化学繊維検査協会データ

試料	カビ抵抗性 ※	
	2 週間後	4 週間後
原液	0	0

試験方法：JIS Z 29112000（乾式法）
 注）※
 0：資料または試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。
 1：資料または試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は全面積の 1/3 を超えない。
 2：資料または試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は全面積の 1/3 を超える。

→ 4 週間後でもカビ菌の発育は認められない。
 ●大豆アレルギーの原因物質は、一般的にタンパク質に蓄積されています。
 当原料の大豆脂肪酸は、油脂生成過程において、問題のタンパク質は分離除去されています。